

# ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第6号 2004年7月発行

## 子供の頃の思い出

添田 マスコ

私は大分県竹田市の田舎で育った。戦後の貧しい時代だったが、豊かな自然に囲まれてのんびりと楽しい日々を過ごしたと思う。子供の頃の思い出でも四季折々、山や田んぼ、小川と自然との関わりの中で遊んだことばかりである。春は子牛や山羊と一緒に、一面のレンゲ田で花輪を作ったり、蝶々を追いかけて、畦道でツクシをとったり、塩を紙に包んで持ち歩き、スイバの茎につけて食べたり。初夏は裏山で野イチゴや木苺を摘んだ。春休みだったか5月の連休だったか忘れたが、毎年姉たちに連れられて見渡す限りのなだらかな草原の丘が連なる放牧地で、お弁当を持って一日がかりで行ったワラビ採り。今ではあまり見かけなくなったオキナグサなどの野草もそこら中で咲いていた。何だかこうして書き始めると食べ物を採った思い出ばかりで恥ずかしい様だが、とにかくグミやクワの実、アケビ、キノコ、何でもよく近所の友達と採った。ノ

食べることもさることながら、採ることその事自体が楽しく面白い遊びだったと思う。あの時代の田舎の子どもは、日本全国みんな同じ様かも知れない。肝心のホタルの思い出といえ、私たちの小学校では毎年、都会？でホタルなど見たことがないという大分市にある聴覚障害者の学校“あけぼの寮”の子ども達にホタルを贈り交流していた。全校児童がそれぞれ麦ワラで編んだかごなどに入れてホタルを学校に持ち寄り、先生と子供の代表が届けた。そして学園で催される「ホタルまつり」の様子や感動を子供たちが作文や絵に書いて送ってくれる。この交流は昭和20年代から30年近く続けられた。今ではご多分に漏れずわが故郷でもめっきりホタルが減少している様だが、私の子供の頃は無数に乱舞していた。私の家は棚田の一番上にあり、その棚田の間に小川もあったが、夜ともなればまさに5月闇、「ホーホーホータル来い」と歌いながら無心に竹ほうきなどで捕ったものだった。



八千代市内のホタルのいま、むかし

加藤 賢三

八千代の夏祭りの花火を見るために新川の辺りを歩いていると、ホタルの乱舞が見られ、感動したものです。それはもう12年も前のことでした。今はこのような場面に会うことはありません。

八千代市内には、ヘイケボタルは生息が確認されていますが、ゲンジボタルの報告はここ10年以上ありません。記録としては、ヘイケボタルの生息確認ノ

地点数は1994年の33ヶ所が最高で、2000年以降はおよそ15ヶ所に半減しています。観測地点あたりのホタルの数は1994年260匹が最高でしたが、現在では30匹から50匹くらいに減少しています。ホタルの生息調査に関する詳細は八千代市水辺の自然環境調査報告書（2003年3月発行）に記されています。

近年、八千代のヘイケボタルが減少したわけは、谷津の開発、水田の乾田化、潤いのない休耕田の増加などです。ほたるの生息状況から市内の自然環境を見ると、以下の課題が見えてきます。

- 1.新川や谷津の斜面林、里山の保全
  - 2.印旛沼に注ぐ河川の、源流からの水質浄化の推進
  - 3.環境保全型の農業の推進（休耕田の有効利用など）
- これらのことを通して、「ホタルも人も輝くまちづくり」が出来るかと思います。

## 湿地に稲を植えました！



ほたるの里の湿地に6月2日、加藤会長、桑波田、森の3人で稲を植えました。

泥と稲の苗は、数十年前の田植えの感触を瞬時に甦よみがえらせます。水田とへイケボタルは密接な関係があり、私などは水田からの涼風りようふうに乗ってホタルが縁側に舞い込む、田舎の情景を思い浮かべます。

湿地の僅わずかな水田で、へイケボタルが増えたり、環境が改善されるとは思えません、へイケボタルと仲良しの水田を優しく見守りたいと思います。

(もり)

### ほたるの里へ

鯉をとっていっぱいメダカをいれてほしい。メダカが住んでいたいような長い草を入れて欲しい。

(1月2日)

ほたるの里に寄せられたいろいろな意見・質問に答えていきます。

**Q:**なぜ、小学生がドングリをまいたクヌギやコナラの木を切ってしまったのでしょうか？ 枯れてしまったとでも思ったのでしょうか？ こんな木の知識もない人たちがメダカやホタルを守ろうなんてバカなことを言っははいけません。

保護者会一同 (3月7日)

**A:**木の剪定は、生長過程に少しずつ枝を剪定してあげると、木へのダメージが少なく、バランスの良い木になります。しかし今回は剪定時期が遅くなってしまったために、大きく木を切らなくてはなりません。この木は幹が太る前に背が高くなってしまったため、上部だけが大きく頭でっかちの状態でした。幹に頭を支える力がないと、木全体のバランスが悪く、強風が吹いたときに倒れたり、折れたりしてしまいます。だから木を生かすために、葉の茂っている上の方の枝を切り、幹に合った高さにしました。木の頂部を切ると横に広がるため、今度はわき芽が出てきましたので、良いバランスで育つと思います。

木はマメに手入れをしてあげるとよいので、年8回行われているほたるの里の環境整備で、一緒に手入れをしてあげましょう。またドングリの木は乾いたところが好きなので、適地に植えられるとドングリも喜ぶのではないのでしょうか？

米本100~130人ウォーキング大会立ち寄り。アオサギ1羽、池にいた。(1月11日)

ご意見ノートを見るとホタルがいなかったとのこと。環境保全課の方、がんばって下さい。

(3月28日)

みんなで1つ1つゴミを拾えばきれいになるね。今年はホタルに会えるかなあ。夏にもきてみます。(5月8日)

見つけるのに苦労しましたが、現地をみることで良かったです。また見に参ります。鯉に餌をやりにくる人などニーズは様々ですね。習志野実籾のホタルワークショップ Nさん

(2月29日)

## 里のみどころ (7月~9月のころ)

青い空 真っ白な入道雲 まぶしい太陽！

ほたるの里も、田んぼも、森も、緑のもっとも濃い季節。

生き物たちも、一年で一番活発に動きます。

昼間のトンボ池の周りには、シオカラトンボ、ノシメトンボ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボなど、夏の終わりには、ギンヤンマも飛んできます。

水の中では、メダカの赤ちゃんが大きくなり、タイコウチやコオイムシたちが元気に動いています。

草むらでは、イナゴやバッタが飛び跳ねます。

夜は、ニホンアマガエルの合唱の合間に、ウシガエルの鳴き声が響きます。

今年は、ゲンジボタルの飛翔が見られず残念でしたが・・・

ヘイケボタルはやさしい光を見せてくれます。

やがて湿地に、ミソハギの花が咲き始め、季節は秋へと移っていきます。

(くわはた)



ノジトラノオ



タコノアシ



ホタルブクロ

## ホタルのマメ知識

### ☆ 光のひみつ ☆

オス

メス

ホタルの光は人の心をいやします。その秘密は、腹側にある発光器にあります。発光細胞では、ルシフェリン(発光物質)、ルシフェラーゼ(発光酵素)、酸素、ATP が酸化反応して緑色の光(冷光)を発します。

(二節)

(一節)

### 発光器

Q: 何のために光るのですか？

A: 仲間同士、雄と雌とのコミュニケーションとして利用しています。

Q: 光るのは成虫だけですか？

A: 卵、幼虫、さなぎもすべて光ります。

Q: 光っている長さは？

A: ゲンジボタルは、関東型は4秒、関西型は2秒。ヘイケボタルは0.5秒。



## 7・8・9月のスケジュール

### ☾ ナイトウォッチング

ほたるの里の観察会を行います。

日時：7月4日（日）

申し込み：当日、直接ふるさとステーションへ  
（午後6時30分より受付を開始します。）

注意：当日は懐中電灯を持参の上、  
動きやすい服装で。

### ✂ 里の環境整備 ✂

ほたるの里でザリガニ釣りや草刈を行います。

日時：7月24日（土）・8月28日（土）

午前9時から11時ごろ

9月25日（土）

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

注意：夏場は帽子や飲み物など、  
各自で暑さ対策をして下さい。

## 第7回総会報告

今年で7回目を迎えましたほたるの里づくり実行委員会の総会が4月10日に行われました。58名の積極的な参加者の下、昨年度の事業報告と今年度の事業計画についての話し合いが進められました。今年度の新たな事業としては、千葉県内のホタルマップ作成が可決されました。

総会資料及びサミット報告書の請求は事務局にお申し出下さい。

### ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	300円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、イベントやほたるの里整備のたびに受け付けておりますので、ご利用ください。

## 里のホームページ紹介

やちよ市民活動支援サポートセンターのホームページ内に載せている実行委員会の情報の一部です。下の手順に従ってアクセスして、ご覧になって下さい。

①やちよ市民活動支援サイトを開く。

<http://www.genki365.com/yachiyo>

②団体紹介・活動紹介コーナーの「団体紹介を見る」をクリックする。

③八千代市ほたるの里づくり実行委員会又はギャラリーをクリックすると里の情報が見られます。

④里の情報の中の「こんな活動をしています ほたるの里の1年間」をクリックすると右に続きます。



### 【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyou2@city.yachiyo.chiba.jp

### 【編集】

広報部会 事務局